

# 第 10 次山形県交通安全計画の概要

## 第9次計画の検証

### ◎ 第9次計画の目標

- ・年間死者数35人以下 年間死傷者数7,000人以下

### ◎ 結果

(単位:人)

	H23	H24	H25	H26	H27	平均
死者数	50	37	39	44	57	45
死傷者数	9,108	8,753	8,752	7,811	8,037	8,492

- ・第9次の目標は未達成であるが平均死者数が減少 [第8次計画 56人 ⇒ 第9次計画 45人]
- ・死者数に占める高齢者の割合が高い [平成27年:山形県 61.4% (参考:全国 54.6%) ]

### ◎ 課題

- ・高齢者等の交通弱者の安全を一層確保することが必要
- ・国道、県道等幹線道路での死者数(全死者の7割を占める)を減少させることが必要

## 第10次計画の概要

### 基本理念

- 交通事故のない、安全・安心な山形県を目指す
- 人優先の交通安全思想を基本とし、あらゆる施策を推進する
- 先進技術の活用を図り、交通安全を推進する

## 1 道路交通の安全

### (1) 最終年度目標(平成32年度)

- ①年間死者数 30人以下(国の第10次交通安全基本計画の目標値2,500人の概ね1%)
- ②年間の死傷者数 6,000人以下(国の第10次交通安全基本計画の目標値50万人の概ね1%)

### (2) 取組みの方向

これまでの交通安全対策を基本にしつつ、より効果的な対策に向けて改善を図るとともに、目標達成に向け、有効性が期待できる新たな施策を展開していく。➡ (3) 主な施策の展開

#### 2つの視点を重視

##### ① 交通事故による被害の減少

- ・高齢者及び子どもの安全確保
- ・歩行者及び自転車の安全確保
- ・幹線道路及び生活道路における安全確保

##### ② 交通事故の起きにくい環境整備

- ・先進技術の活用推進
- ・交通事故分析を踏まえた対策推進
- ・地域ぐるみの地域安全対策推進

+

#### 重点的に取組む事項

- ① 高齢者及び子どもの安全対策の推進
- ② 幹線道路での事故防止対策の推進
- ③ 運転者対策の推進
- ④ 生活道路などの道路安全施設整備による事故防止対策の推進
- ⑤ 夕方から夜間にかけての事故防止対策の推進
- ⑥ シートベルト・チャイルドシートの着用徹底

### (3) 主な施策の展開(年間交通事故死傷数30人以下に向けて)

#### 1 交通安全思想の普及徹底

交通安全思想の普及に向けた戦略的な取組みとして「交通マナーアップ県民運動(仮称)」の展開

##### 【運転者】

- ・「歩行者を守る」保護意識の徹底、交通弱者に対する思いやりのあるやさしい運転の奨励
- ・飲酒運転撲滅、シートベルト全席着用、薄暮時点灯の励行、交通事故情報の「見える化」推進

##### 【高齢者】

- ・参加体験型交通安全教育の計画的推進、夜光反射材の着用励行

##### 【小学生・中学生・高校生】

- ・歩行及び自転車運転時のルール遵守、自主的な全席シートベルト着用に向けた取組の推進

#### 2 安全運転の確保

- ・高齢運転者に対する運転講習、適性相談の充実、運転免許自主返納制度の周知及び支援の拡充
- ・事業者に対する事業用自動車の安全管理対策の指導強化

#### 3 道路交通環境の整備

- ・幹線道路における事故危険個所対策の推進、生活道路等における「人優先」の歩行空間の整備
- ・道路交通情報通信システム(VICS)、安全運転支援システム等の導入・整備

#### 4 車両の安全性の確保

- ・車両構造に起因する事故防止のための検査体制の充実、整備技術の向上、リコール制度の強化

#### 5 道路交通秩序の維持

- ・飲酒運転、スピード超過など悪質性、危険性の高い違反に重点を置いた指導取締りの強化
- ・幹線道路等の事故多発路線における指導取締りの強化

#### 6 救助・救急活動の充実

- ・迅速な対応に向けた救急医療機関、消防機関等との連携協力体制の強化

#### 7 交通事故被害者等支援の推進

#### 8 交通事故調査・分析の充実

- ・地理情報システム(GIS)を活用した交通事故分析による交通事故情報等の「見える化」推進

## 2 鉄道交通の安全

(1) 最終年度目標(平成32年度): 乗客の死者数ゼロの継続

(2) 取組み: ①重大な鉄道事故の未然防止 ②利用者が関係する鉄道事故の防止

(3) 主な施策:

- ①鉄道交通環境の整備 ②鉄道交通の安全に関する知識の普及 ③安全な運行の確保

## 3 踏切道の安全

(1) 最終年度目標(平成32年度): 踏切事故件数ゼロ

(2) 取組み: 踏切の状況等を踏まえた効果的な対策の推進

(3) 主な施策: ①立体交差、構造改良及び歩行者等立体横断施設の整備 ②統廃合の促進